

# ヘルスケア分野で共同研究

# 弘大と花王 連携強化

## 来月 医学研究科に講座新設



ヘルスケア研究での連携強化を発表した(左から)澤田社長、佐藤学長、中路教授=14日、花王本社

ヘルスケア(健康管理)分野で共同研究を進めてきた弘前大学と生活用品大手「花王」は14日、その連携を12月から強化すると発表した。2019年11月までの3年間、弘前大学院医学研究科内に共同研究するための講座(チーム)を新たに設置。花王の研究員も弘大に常駐し、生活習慣病などの原因となる内臓脂肪を減らすプログラムなどを研究する。弘大が講座開設に当たって企業から人材派遣を受けるのは初めて。

(長内忠光)

弘大は文部科学省の年12月から3カ月間、ア食品研究所(東京都)の主席研究員1人を弘大に常駐させる。講座は弘前大学院医学研究科の中路重之教授ら同大側2人、花王は、社会的環境を愛える健康づくりを広めるに

採択を受け、本県の「短命県」返上を目指した健康増進プロジェクトを展開している。プロジェクトは産官学の連携によって進められており、参画した花王は内臓脂肪をためないよう配慮した「スマート和食弁当」を15

今年12月1日、花王が講社で講座の開設式が行われ、弘大の佐藤敬学長は「講座の開設は」

今回の発表はこの取り組みを強化・発展させたもので、共同研究チーム「アクティブライフプロモーション学

を持った企業と一緒に「健康分野で日本を取り組めることは非常にありがたい」と意義を強調した。花王の澤田道隆社長は「世界に通じる事例となるよう、大きな成果を生み出したい」と意気込みを語った。